

# 令和4年度学校教育の努力点とその推進計画

## 1 研究主題について

「自ら、ともに、学びを深める正色っ子」

## 2 主題設定の理由

昨年度から「自ら、ともに、学びを深める正色っ子」をテーマに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指し、個別学習とプロジェクト型学習に取り組んできた。本年度の名古屋市学校教育の努力目標及び重点事項においても、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が明記されており、本校の努力点研究は、今日的な課題の追究となるものとする。

さて、昨年度の取組は、まず、個別学習(ドンドンクエスト)とプロジェクト型学習(プロジェクトS)に取り組んでみて、軌道に乗せることを第一の目標として、実践を開始した。



個別学習では、算数科や国語科の授業の一部で個別の課題に取り組んだり、児童が自分で計画を立てて家庭学習に取り組んだりするようにした。「報告シート」を使って進捗状況を可視化したり目標に到達すると「称号」を与えたりすることで、児童の意欲を持続させ、見通しをもたせることで、計画的に意欲をもって学習に取り組む児童が増えたという成果が得られた。また、子どもが選択しやすい「習熟度別の課題」や「自主勉強ノート」を活用することで、自分に合った課題を選びやすくなり、児童全体の基礎学力の底上げにつながった。

プロジェクト型学習では、各教科で『授業づくりハンドブック』を参考にして、教師の提示した「トピック」を基に、個人やグループで探究したいテーマを設定し、ゴールに向かって探究活動を行った。前期に現職教育として教育センターのユニット研修を行い、学習の進め方について理解を深めた。また部会ごとに授業参観を行い、様々な教科におけるプロジェクト型学習について学び合った。

一年を通して、どの学年の実践も、学習内容やゴールが分かりやすく、児童各々が目標をもって活動に取り組み、達成感を味わうことができた。「学習履歴」や「計画表」を使うことが、ゴールの確認や活動の振り返り、次時の内容の明確化に有効だという成果が得られた。また、プロジェクト型学習での協働的な学びの姿勢が、他の学習活動でも生かされている様子も報告された。

しかしながら、個別学習では、個別に学習が進められたものの、全ての児童が主体的に学習に取り組み、それぞれの児童の最適な学習を行うまでには至らなかった。また、プロジェクト型学習では、トピックの提示の仕方、教師の支援の方法、学び合いの仕方などについて課題が残った。今年度は、努力点研究の2年目として、個別学習は、より個別最適化されるよう、課題の決定の仕方、学習の見通しと振り返りの仕方、支援の方法を改善していく。また、プロジェクト型学習は、もっと、児童が主体的に活動に取り組み、自分の問いを自分なりの仕方でも解決し、自分の答えにたどり着くことができるようにしていく。

## 3 実践の進め方

2年目となる今年度は、上記の成果を生かし、課題を解決できるように取組を改善する。個別学習(ドンドンクエスト)は、算数科に絞って研究を進め、チャートや指標を使い、目標や到達度を視覚化し児童に分かるようにすることや、効果的な支援方法を考え実践することで、児童それぞれに最適化された学習となるようにする。また、自由進度学習について現職教育で学んで理解を深め、今後実践に取

り入れられるようにしていく。プロジェクト型学習（プロジェクトS）は、3年生以上は総合、1・2年生は生活科や国語、学活を中心に進める。どんなことをプロジェクト型学習で学ばせるのかを教師が吟味し、児童の問いが広がり、「探究したい」と思えるようなトピックを提示する。また、児童の支援の仕方、児童間での学び合いについて改善を図り、児童自身が意欲を継続し達成感を得られる実践を行っていく。

年2回の学校開放日（前期・後期各1回）で実践を保護者に参観してもらう機会を設定する。プロジェクト型学習の進め方は、名古屋市教育センター『授業づくりハンドブック』を基本とし、学びの進捗状況や足跡が分かるワークシートの工夫をする。実践後の振り返りや中間報告会の時間を効率的に確保し、ロイロノートを活用して各学年の取組の進捗状況を把握したり、教員同士で互いの実践を見合ったりできるようにしていく。

各学年の取組は中間報告会や最終報告会で共通理解し、主体的な態度の評価の仕方についても、話し合っていきたい。また、昨年度の学校評価アンケートでは、保護者に取組が伝わっていないことがうかがえた。学校だよりでの周知は継続するが、学年だよりでも二つの取組について、紹介することを検討する。



## 4 授業実践内容

### (1) 授業実践について

プロジェクト型学習（プロジェクトS）の取組について、担任全員が、年間2回（前期・後期）の授業実践を行う。（1年生は、前期はドンドンクエストの実践でもよい。）前期・後期も1回ずつ、学校開放日に、学校努力点授業参観で保護者に公開する。（前期：追究、後期：発表など、場面を変えることが望ましい。）公開する授業がどの場面で、その学習に至るまでにどのような学習の経過をたどってきたのかを保護者に周知する必要がある。（教室掲示や事前のお知らせなど）学校だよりだけでなく、学年だよりでも実践の様子を紹介することを検討する。

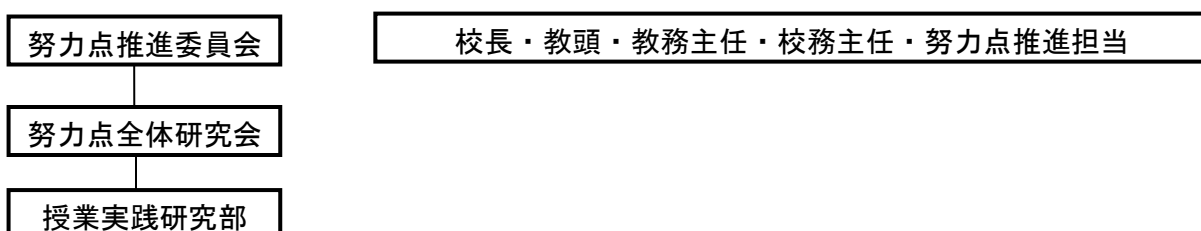
### (2) 評価計画

主体的に学ぶ態度の評価方法は、各学年の教育課程に準ずる。個別学習（ドンドンクエスト）、プロジェクト型学習（プロジェクトS）どちらの取組でも、使用したプリントや参考にした資料があれば、共通理解できるようにする。（teachers→学年→各フォルダ）

## 5 学校評価の計画

- ・ 努力点に関わる授業参観を、全学年で年間を通じて2回実施する。
- ・ 1月に、自己評価のための保護者アンケートを実施し、資料を得る。
- ・ 学校評議員会で、教育活動への意見を聞く。
- ・ 学校評価全体会及び努力点全体研究会で最終的な評価を行う。

## 6 研究の組織



# 学校開放日（6月30日）

2～4限の中で、各学級の努力点の取り組みや、日頃の授業の様子を知っていただく機会としました。

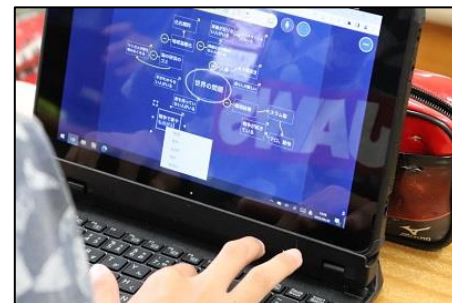
## 個別学習「ドンドンクエスト」の取り組み

### DONDONQUEST



## プロジェクト型学習「プロジェクトS」の取り組み

### プロジェクト S PROJECT S



多数の保護者の皆様に参観していただき、子どもたちの励みになったと思います。ありがとうございました。

# 学校開放日(授業参観)アンケート結果について

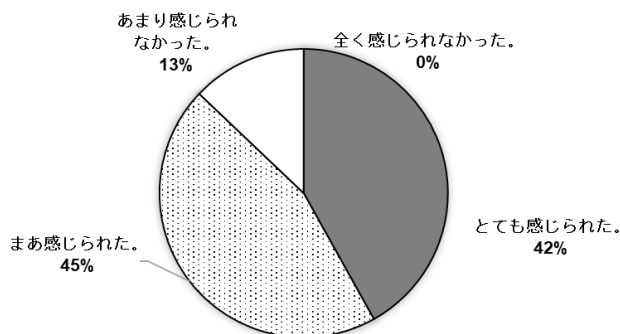
6月30日(木)の学校開放日(授業参観)には、お忙しい中、多くの保護者の方にご参観いただき、また、実施後のアンケートにもご協力いただきまして、ありがとうございました。結果を集計しましたので、報告いたします。

## DONDONQUEST

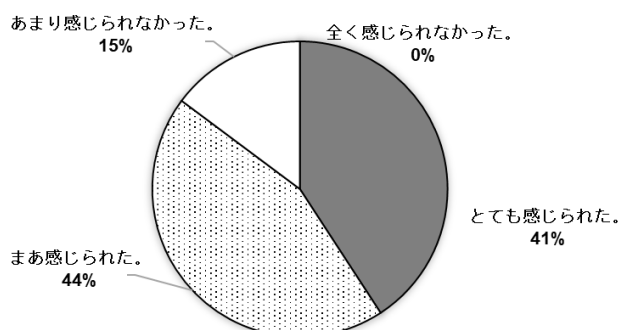
## プロジェクト S

PROJECT S

個別学習「ドンドンクエスト」は、それぞれの子どもが意欲的に取り組んでいるように感じられましたか。  
(全学年集計 有効回答数 31)



プロジェクト型学習「プロジェクトS」は、子どもたちが主体的に取り組んだり、仲間と協働して取り組んだりしているように感じられましたか。(全学年集計 有効回答数 27)



この2年半、新型コロナウイルス感染症の影響により、なかなか日頃の学習の様子をご覧いただけない状況でした。今回の授業参観は、制限がある中でしたが、日頃の学習の様子をご覧いただくことができました。

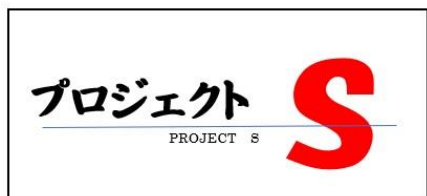
「ドンドンクエスト」「プロジェクトS」とともに、多くの保護者の方に、「とても感じられた」「まあ感じられた」と回答いただきました。これからも、子どもたちが学習活動に意欲的に取り組んだり、仲間と協働して取り組んだりできるよう、学校努力点である「ドンドンクエスト」「プロジェクトS」の取組を進めてまいります。

自由記述欄にも多くのご意見をいただき、ありがとうございました。「久しぶりの授業参観で学習の様子を見ることができて良かった」「教室が密になることなく参観することができた」「授業参観の案内と一緒に授業内容を教えていただきかった」「教室内のエアコンがあまり効いていなかった」などのご意見をいただきました。授業参観の案内の配布時点では、進捗状況から学習内容が決定しておらず、また参観人数を調整する関係上、お伝えすることができませんでした。また、エアコンは稼働しておりましたが、換気と廊下からも参観できるようにするため、窓や扉を開放していたことでエアコンの稼働能力を超えてしまったと考えます。今後も、いただいたご意見を参考に、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、授業参観を含め、よりよい学校行事の実施方法について検討してまいります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

# 学校開放日（2月18日）

2・3限を、学校努力点「プロジェクトS」の取組の成果を参観していただく機会としました。

## プロジェクト型学習「プロジェクトS」の取り組み



1年：「1年間でできるようになったことと  
がんばったことを伝え合おう」



2年：「自分の成長で分かったことや、  
周りの人への感謝を伝えよう」



3年：「下之一色観光大使になって  
学区のよさを伝えよう」



4年：「生きるについて考えよう」  
～二分の一成人式をしよう～



5年：「福祉について考えよう」



6年：「外国について調べよう」



多数の保護者の方々に参観していただいたおかげで、子どもたちの頑張りや満足そうな表情が見られました。子どもたちの成長を実感していただけたのなら幸いです。